

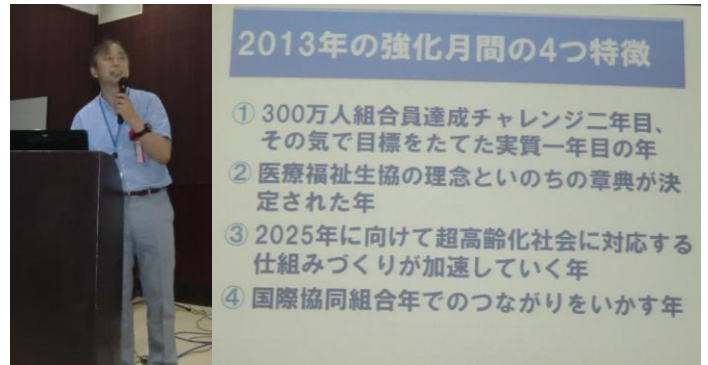
常夏の島あまみ

参加者350名

2013年7月10日(水)
現地実行委員会ニュース



あなたは地域のデザイナー
まちづくりを楽しむ方法



2013年の強化月間の4つ特徴

- ① 300万人組合員達成チャレンジ二年目、その気で目標をたてた実質一年目の年
- ② 医療福祉生協の理念といのちの章典が決定された年
- ③ 2025年に向けて超高齢化社会に対応する仕組みづくりが加速していく年
- ④ 国際協同組合年でのつながりをいかす年

秋の生協強化月間方針の提案 (松本弘道氏)



講師：リム ボン氏 (立命館大学産業社会学部教授)



☆九州・沖縄ブロック組合員交流研修会

7月10日に奄美観光ホテルで開催されました。「くるめ」から「沖縄」まで九州各地より約350名が参加しました。

リム ボン氏を講師に

あなたは地域のデザイナー
「まちづくりを楽しむ方法」
の講演がありました。



奄美医療生協組合員によるオープニング(農村小唄・日本復帰の歌)



ごあいさつ

第36回九州ブロック組合員交流研修会にご参加いただきありがとうございます。

今回の交流会には9生協から350名の組合員にご参加いただきました。

折しも、今年は奄美が日本に復帰して60年目にあたります。大きな節目ということで、この1年を通じて奄美各地で60周年を記念する催しが行われます。この記念すべき年に交流会が開催されることはタイムリーでした。なかなか暮らしがよくなる。医療、福祉、介護の制度も年々後退するばかり！先行きの不安はつものばかりです。売り出し中のアベノミクスも、働くもの、労働者と中小業者には何の恩恵もないことがはっきりしてきました。大企業と財界のふところを増やすだけのものでしかないことも！！一方で平和憲法を変えようとする動きが台頭し、活発化しています。国防軍という言葉までとびかう状況！きなくさいにおいがたちこめています。手をこまねいているわけにはいきません。

あらためて医療福祉生協の出番だと思います。暮らしを守る！平和を守る！医療福祉生協がめざす「誰もが健康で豊かな明るい街づくり運動」を一層地域で広げよう！という気概が沸々と沸き上がるような交流会にできたらと思います。2日間がんばりましょう。

九州沖縄ブロック組合員交流研修会
実行委員長 平 克英